

中国での事業展開の成功を考える 知財戦略

＝現地生産やR&Dに伴なう
技術流出対策のあり方＝

住友化学(上海)有限公司
津田 小亮

2006年2月22日

大連住化凱飛化学有限公司

- 農薬の中間体の製造および輸出
従業員:40-50名(日本人管理社員 3名)
- 農薬の中間体/原体 製造上の留意事項(技術ノウハウ)
原料/中間体/原体*の物理化学性状(規格基準**)が重要。
 - *原体:最終製品の原料(有効成分)
 - **有効成分含量、不純物、等の規格
- 農薬の場合、原体/最終製品の登録には、不純物も含めた
詳細な環境に対する安全性、毒性関係のDataが要求される。

現地生産JV工場の技術流出対策

- 現地JV工場：原料 ⇒ 中間体の製造
⇒ 住化関連工場 に輸出。
#住化発明の特許化合物の生産に使用。
- 原料の選択：品質、不純物組成、経済性、
- 現地Partnerの合成技術も利用。
- **作業標準書の作成/管理**：技術情報最低必要のもの。
- 製造工程管理：CPUによる**集中制御System**を導入
- 幹部社員との雇用契約：**守秘義務** 遵守事項。
- 住化関連工場（中国国外）：中間体⇒原体の製造。
- 自社発明品の物質特許の取得は必須。

特許権の保護

- 新農薬の発明から販売まで：
8-10年、80-100億円以上の投資
- 現在、新農薬（特許品）が販売される時期（中国）
#1993年から化合物特許度発効
- 中国で成立した特許品： 農薬登録および生産許可
部門に“特許品List”を提出。
⇒ 特許権利者以外の許可証の発給を事前に
排除する努力が必要。
農薬登録：農業部農薬検定所
生産許可証：国家発展改革委員会

その対策

- 最近の農業部との交渉：
Listの提出により、第三者による類似の農薬登録申請について情報交換が出来る体制を構築。
- 国家発展改革委員会には 近々交渉の予定。

ご静聴ありがとうございました。